



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年11月7日

上場会社名 東京応化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4186 URL <http://www.tok.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 阿久津 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 村上 裕一

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第2四半期	40,961	9.3	4,076	42.6	4,242	49.6	2,488	55.8
23年3月期第2四半期	37,478	15.1	2,858	—	2,835	—	1,597	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,295百万円 (324.1％) 23年3月期第2四半期 541百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	55.30	—
23年3月期第2四半期	35.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第2四半期	143,127	119,822	82.6
23年3月期	147,085	118,567	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 118,270百万円 23年3月期 116,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
24年3月期	—	18.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	80,000	0.1	6,400	5.9	7,000	5.4	4,200	15.1	93.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	46,600,000 株	23年3月期	46,600,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,595,502 株	23年3月期	1,595,228 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	45,004,637 株	23年3月期2Q	45,005,859 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧により生産等に持ち直しの動きがみられましたが、欧州や米国の財政・経済不安による世界的な景気低迷や急激な円高進行等により、先行き不透明感が続いています。

このような情勢の下、当企業集団は、引き続き経営の合理化のほか、需要が旺盛であるエキシマレーザ用フォトレジストの拡販ならびに装置事業での検収促進に努めてまいりました。材料事業につきましては、エレクトロニクス機能材料の半導体用フォトレジストが、海外ユーザーからの需要増加等により堅調に推移いたしましたものの、高純度化学薬品や前期に譲渡した印刷材料の減収の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。一方、装置事業では、出荷済み製品の検収促進に注力した結果、売上は前年同期を大幅に上回ることができました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は409億61百万円（前年同期比9.3%増）、利益面におきましては、円高の進行等がありましたものの、材料事業における先端材料の販売数量の増加や装置事業の採算が改善できたことに加え、コスト削減の効果が大きく寄与し、営業利益は40億76百万円（同42.6%増）、経常利益は42億42百万円（同49.6%増）、四半期純利益は24億88百万円（同55.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 材料事業

エレクトロニクス機能材料部門は、液晶ディスプレイ用フォトレジストが液晶テレビ需要の低迷により、ユーザーでの工場稼働率低下の影響から売上は減少いたしました。半導体向けエキシマレーザ用フォトレジストが特にアジア地域で好調に推移し、当部門の売上高は223億89百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

高純度化学薬品部門におきましては、東日本大震災により国内向け出荷の減少のほか、北米向け製品の価格下落等により、当部門の売上高は117億47百万円（同8.6%減）となりました。

この結果、材料事業の売上高は344億75百万円（同3.0%減）、営業利益は52億60百万円（同7.3%減）となりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	35,544	34,475	△1,069	△3.0%
営業利益	5,677	5,260	△416	△7.3%

② 装置事業

液晶パネルメーカーの設備投資抑制に加え、シリコン貫通電極形成システムを使用する3次元実装市場の立ち上がりの遅延等により、受注は前年同期を下回りました。一方、液晶パネル製造装置のアジア地域における出荷済み製品の検収促進に注力した結果、売上は前年同期を大きく上回ることができました。

この結果、装置事業の売上高は65億34百万円（同3.3倍）、営業利益は2億90百万円（前年同期は営業損失12億59百万円）と黒字転換することができました。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,970	6,534	4,564	3.3倍
営業利益または 営業損失（△）	△1,259	290	1,549	—

なお、セグメント間の取引につきましては、相殺消去しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,431億27百万円で、前連結会計年度末に比べ39億57百万円減少いたしました。

流動資産は67億93百万円減少いたしました。これはたな卸資産が33億61百万円、繰延税金資産の減少等によりその他が14億25百万円、受取手形及び売掛金が12億91百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産につきましては28億35百万円増加いたしました。これは投資その他の資産のその他が投資有価証券の期末評価による減少等により8億12百万円、有形固定資産が減価償却の進行等により3億16百万円、それぞれ減少したものの、長期預金が増加したことが主な要因であります。

負債合計は、233億5百万円で、前連結会計年度末に比べ52億12百万円減少いたしました。これは流動負債のその他が前受金の減少等により45億65百万円、支払手形及び買掛金が3億30百万円、未払法人税等が2億1百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産合計は、1,198億22百万円で、前連結会計年度末に比べ12億54百万円増加いたしました。これは利益剰余金の配当8億10百万円や、その他有価証券評価差額金が2億89百万円、少数株主持分が1億5百万円、それぞれ減少したものの、当四半期純利益24億88百万円を確保したことが主な要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は82.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から変更しておりません。

なお、為替相場は78円/\$を想定しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,024	47,291
受取手形及び売掛金	21,309	20,017
商品及び製品	13,760	10,814
仕掛品	3,191	2,817
原材料及び貯蔵品	3,305	3,265
その他	4,306	2,881
貸倒引当金	△97	△80
流動資産合計	93,799	87,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,634	15,122
その他（純額）	14,781	14,976
有形固定資産合計	30,415	30,099
無形固定資産	257	192
投資その他の資産		
長期預金	14,000	18,000
その他	9,226	8,413
貸倒引当金	△614	△583
投資その他の資産合計	22,612	25,830
固定資産合計	53,285	56,121
資産合計	147,085	143,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,415	8,084
未払法人税等	442	240
賞与引当金	1,504	1,428
その他	16,049	11,484
流動負債合計	26,412	21,238
固定負債		
退職給付引当金	1,211	1,243
その他	894	824
固定負債合計	2,105	2,067
負債合計	28,517	23,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	91,933	93,612
自己株式	△2,929	△2,929
株主資本合計	118,852	120,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	953	663
為替換算調整勘定	△2,896	△2,924
その他の包括利益累計額合計	△1,942	△2,260
少数株主持分	1,657	1,551
純資産合計	118,567	119,822
負債純資産合計	147,085	143,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	37,478	40,961
売上原価	25,572	28,035
売上総利益	11,906	12,926
販売費及び一般管理費	9,047	8,849
営業利益	2,858	4,076
営業外収益		
受取利息	50	52
受取配当金	71	72
持分法による投資利益	21	101
その他	137	151
営業外収益合計	281	378
営業外費用		
為替差損	173	67
租税公課	72	112
その他	58	32
営業外費用合計	304	212
経常利益	2,835	4,242
特別利益		
固定資産売却益	7	5
貸倒引当金戻入額	230	—
特別利益合計	237	5
特別損失		
固定資産除却損	56	50
投資有価証券評価損	124	26
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	54	16
特別損失合計	310	93
税金等調整前四半期純利益	2,762	4,154
法人税、住民税及び事業税	431	319
過年度法人税等	△114	—
法人税等調整額	766	1,223
法人税等合計	1,083	1,543
少数株主損益調整前四半期純利益	1,678	2,611
少数株主利益	80	122
四半期純利益	1,597	2,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,678	2,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△605	△289
為替換算調整勘定	△526	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	5
その他の包括利益合計	△1,137	△315
四半期包括利益	541	2,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527	2,170
少数株主に係る四半期包括利益	14	124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,762	4,154
減価償却費	2,150	1,853
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△268	△55
賞与引当金の増減額(△は減少)	88	△76
退職給付引当金の増減額(△は減少)	106	26
受取利息及び受取配当金	△121	△125
為替差損益(△は益)	491	△128
持分法による投資損益(△は益)	△21	△101
固定資産除却損	56	50
投資有価証券評価損益(△は益)	124	26
売上債権の増減額(△は増加)	△1,073	1,399
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,070	3,405
仕入債務の増減額(△は減少)	△431	△338
前受金の増減額(△は減少)	5,673	△4,668
その他	△157	362
小計	5,309	5,784
利息及び配当金の受取額	104	119
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△425	△564
過年度法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	73	29
その他の支出	△1	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,061	5,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△353	△1,898
有形固定資産の取得による支出	△548	△1,105
無形固定資産の取得による支出	△28	△10
長期預金の預入による支出	△4,500	△10,500
長期預金の払戻による収入	2,000	1,500
その他	36	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,393	△11,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△673	△807
少数株主への配当金の支払額	△105	△230
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△780	△1,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△294	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	592	△7,634
現金及び現金同等物の期首残高	29,110	39,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,702	31,991

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,544	1,933	37,478	—	37,478
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	36	36	△36	—
計	35,544	1,970	37,515	△36	37,478
セグメント利益または 損失(△)	5,677	△1,259	4,418	△1,559	2,858

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,559百万円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△1,559百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
ます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,475	6,486	40,961	—	40,961
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	48	48	△48	—
計	34,475	6,534	41,010	△48	40,961
セグメント利益	5,260	290	5,551	△1,474	4,076

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,474百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,474
百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。